



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社
 コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若山 健彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部門長 (氏名) 三宅 哲史
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5847-2030

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,096	7.3	23	19.8	4		118	
2020年3月期第1四半期	2,886	36.9	28		5		8	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 421百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 16百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.03	
2020年3月期第1四半期	1.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,514	3,393	38.8
2020年3月期	8,485	3,000	34.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,302百万円 2020年3月期 2,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		4.00	4.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	0.6	150	50.9	120	60.1	290	3.8	39.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	7,447,914 株	2020年3月期	7,447,914 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	85,544 株	2020年3月期	74,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	7,365,120 株	2020年3月期1Q	7,444,799 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、社会・経済活動が大幅に制限され、景気が急速に悪化する等、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後も、いまだ収束の見通しは立っておらず、先行き不透明な状況が続いています。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、関係者の皆さま及び従業員の安全・健康確保を最優先に掲げ、感染症予防対策を実施しながら、「テクノロジー・イノベーションで明日を創る」ことを目指し、事業拡大に向けた積極的な企業活動を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言発令に伴う顧客企業の休業や計画見直し等の影響により、一部受注や納品が停滞しましたが、一方で、新しい生活様式や働き方に対応する形でPC関連や周辺機器向けのメモリー製品等の需要が高まったことから、売上は堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,096百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。利益につきましては、営業利益23百万円（同19.8%減）、経常利益は4百万円（前年同四半期は経常損失5百万円）となったほか、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益を計上したことにより、118百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失8百万円）と大幅増益となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①メモリーモジュール関連

主要製品のDIMM(Dual Inline Memory Module)及びSSD(Solid State Drive)の主要調達部材であるメモリー製品のDRAM、NANDにつきましては、データセンターのサーバー向けの需要により市況は回復基調にありましたが、先行きへの不透明感が強まっていることから、次世代通信規格（5G）関連やスマートフォン向けの供給が振るわず、価格は下げ基調に転じてきております。当第1四半期連結累計期間におきましては、テレワーク関連のほか、動画やゲーム等のオンラインサービス向けの需要等が堅調で、PC向けメモリーモジュールやSSDのほか、ゲーミングヘッドセット、キーボード等の販売が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,688百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益（営業利益）は159百万円（同21.1%増）と増収増益になりました。

②デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連

デバイスプログラミング関連につきましては、新型コロナウイルスの影響を受け、主要取引先各社が生産計画の調整・見直し等を行なったことから、プログラマ本体及び変換アダプタ関連の販売等を含め全般で前年同四半期を下回る実績となりました。ただ第2四半期以降では、大型自動プログラミングシステムと特定顧客向けにカスタマイズしたデバイスプログラムの大量受注等が決定しております。一方、ROM書込みサービスにつきましては、多様な業界からの大口ニーズに対応するため、今年6月、作業場となるクリーンルームを増築いたしました。今後、事業の拡大を図るとともに連結業績に寄与できるよう取り組みを進めてまいります。

ディスプレイソリューション関連につきましては、海外ATM向けタッチパネルの受注は安定的に推移しましたが、顧客企業による設備投資の抑制等の影響を受け、デジタルサイネージ関連製品の売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は224百万円（前年同四半期比11.8%減）、セグメント損失（営業損失）は46百万円（前年同四半期は11百万円の損失）となりました。

③システム開発関連

主力ビジネスである技術支援型（人材派遣）案件につきましては、概ね安定的な受注を獲得することができたものの、顧客企業の休業やテレワーク対応等の措置に伴い、自宅待機や稼働時間の短縮等が発生したため、売上が減少しました。受託開発案件につきましては、同じく新型コロナウイルスの影響による顧客企業の予算縮小・内製化に伴い、受注獲得件数は計画を下回りました。一方、昨年末に本社事務所を移転したことに加え、当該事業を手掛ける当社子会社の株式会社イーアイティーでは、緊急事態宣言発令前後から全従業員の7割について在宅勤務を基本方針として対応していることから、販管費が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は144百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（前年同四半期比164.9%増）となりました。

④その他事業

新規事業として取り組んでいるインテリジェント・ステレオカメラ事業については、交通・インフラ関連での安全システム等において大手企業との実証実験を含めた開発を進めており、今年度中の商用機出荷開始を想定しております。また自動搬送装置（AGV）等での障害物監視における3次元領域のセンサー用途として、左右のレンズ間距離が従来機の3分の1以下となる小型・軽量モデルの開発も進めており、早期の市場投入を目指しております。

そのほか、ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース及びマーケティングのコンサルティング事業、企業の買収等の斡旋や仲介及びこれらに関するコンサルティング事業、太陽光発電等の環境エレクトロニクス関連事業等を展開しております。

当セグメントの売上高は、非連結子会社であったジー・ワーカー株式会社を連結子会社化したこと等より、46百万円（前年同四半期比98.8%増）となりましたが、セグメント損失（営業損失）はステレオカメラ開発費用の増加等より5百万円（前年同四半期は5百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.4%減少し、6,162百万円となりました。これは、投資有価証券売却等によりその他（預け金）が122百万円増加したものの、商品及び製品が108百万円、原材料及び貯蔵品が219百万円、前渡金が102百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて28.5%増加し、2,351百万円となりました。これは、有形固定資産の新規投資等で82百万円、投資有価証券評価益で431百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、8,514百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.6%減少し、3,630百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が530百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、1,491百万円となりました。これは、投資有価証券評価益に係る繰延税金負債が162百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、5,121百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、3,393百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が118百万円、その他有価証券評価差額金が304百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2020年7月2日に公表いたしました2021年3月期連結業績予想からの変更はありません。なお、この連結業績予想に変化が生じると見込まれる場合には適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899,477	1,991,976
受取手形及び売掛金	2,172,071	1,870,536
商品及び製品	1,039,746	931,504
仕掛品	53,694	78,817
原材料及び貯蔵品	1,107,453	887,587
前渡金	204,008	101,080
その他	193,669	315,971
貸倒引当金	△15,809	△15,139
流動資産合計	6,654,313	6,162,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	979,109	993,904
減価償却累計額	△863,146	△871,564
建物及び構築物(純額)	115,963	122,339
土地	635,450	635,450
その他	439,096	530,537
減価償却累計額	△206,499	△222,057
その他(純額)	232,596	308,480
有形固定資産合計	984,010	1,066,270
無形固定資産		
のれん	37,800	28,350
リース資産	6,720	5,407
その他	26,794	25,353
無形固定資産合計	71,315	59,111
投資その他の資産		
投資有価証券	491,439	922,821
関係会社株式	5,990	—
敷金及び保証金	233,458	240,261
破産更生債権等	40,794	40,554
繰延税金資産	13,061	45,643
その他	34,944	21,794
貸倒引当金	△45,594	△45,192
投資その他の資産合計	774,093	1,225,882
固定資産合計	1,829,419	2,351,264
繰延資産		
社債発行費	1,356	1,220
繰延資産合計	1,356	1,220
資産合計	8,485,089	8,514,821

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,102,088	571,833
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
短期借入金	2,440,000	2,440,000
1年内返済予定の長期借入金	309,974	254,543
未払金	101,929	161,071
リース債務	7,340	6,622
未払法人税等	54,788	17,507
賞与引当金	26,420	12,613
製品保証引当金	689	514
その他	31,508	135,608
流動負債合計	4,104,738	3,630,314
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	1,071,432	1,017,861
退職給付に係る負債	92,011	95,358
リース債務	2,692	1,497
繰延税金負債	70,832	233,452
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	3,922	3,908
固定負債合計	1,380,320	1,491,506
負債合計	5,485,059	5,121,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	993,003	993,003
資本剰余金	1,376,532	1,376,532
利益剰余金	432,083	520,643
自己株式	△30,010	△30,010
株主資本合計	2,771,608	2,860,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,645	521,137
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△3,720	△4,965
その他の包括利益累計額合計	138,943	442,190
新株予約権	89,478	86,631
非支配株主持分	—	4,009
純資産合計	3,000,030	3,393,000
負債純資産合計	8,485,089	8,514,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,886,099	3,096,684
売上原価	2,524,190	2,750,167
売上総利益	361,909	346,517
販売費及び一般管理費	333,036	323,368
営業利益	28,872	23,148
営業外収益		
受取賃貸料	4,649	4,129
持分法による投資利益	15,092	—
補助金収入	—	1,886
その他	1,790	3,072
営業外収益合計	21,532	9,087
営業外費用		
支払利息	8,605	5,438
為替差損	44,340	20,784
その他	3,393	1,663
営業外費用合計	56,339	27,886
経常利益又は経常損失(△)	△5,933	4,350
特別利益		
投資有価証券売却益	—	127,819
その他	—	3,296
特別利益合計	—	131,115
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,933	135,465
法人税、住民税及び事業税	7,210	21,108
法人税等調整額	2,081	△3,699
法人税等合計	9,291	17,408
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,225	118,056
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△6,827	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,397	118,063

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,225	118,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,914	304,492
為替換算調整勘定	897	△1,245
その他の包括利益合計	△1,017	303,247
四半期包括利益	△16,242	421,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,414	421,310
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,827	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,460,980	253,541	149,210	2,863,731	22,367	2,886,099	—	2,886,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	998	1,500	2,734	5,233	803	6,036	△6,036	—
計	2,461,979	255,041	151,944	2,868,965	23,170	2,892,136	△6,036	2,886,099
セグメント利益又は 損失(△)	131,874	△11,770	5,845	125,949	△5,705	120,243	△91,370	28,872

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△91,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,685,181	224,932	143,305	3,053,418	43,265	3,096,684	—	3,096,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,505	—	1,058	4,563	2,807	7,370	△7,370	—
計	2,688,687	224,932	144,363	3,057,982	46,072	3,104,055	△7,370	3,096,684
セグメント利益又は 損失(△)	159,723	△46,304	15,485	128,904	△5,209	123,694	△100,545	23,148

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業・モバイルアクセサリ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△100,545千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。